

行動制限に係る 関係者からのヒアリング

社会福祉法人・花 障がい者生活支援センター「すみれ」
ピアサポーター 古川裕也

自己紹介

- 出身：青森県弘前市で生まれ育つ。
- 経歴等：
 - 令和4年8月 社会福祉法人・花 入職
 - 障がい者生活支援センター「すみれ」でピアサポーターとして勤務。精神疾患（統合失調症）の経験を活用した支援を行う。
 - 弘前圏域ピアサポーター「だんだん」の会にも所属。
- 委員：
 - 弘前市自立支援協議会委員

社会福祉法人・花の実施事業

- 障がい者生活支援センター「すみれ」
- 自立訓練（生活訓練）事業所（多機能型）「しばざくら」
- 生活介護事業所（多機能型）「花束」
- 共同生活援助事業所「あじさい」
- 日中サービス支援型共同生活援助事業所「花の郷」・短期入所（併設型）「さくら」
- 売店事業「たんぽぽ」
- 支援センターⅢ型「工房わにっこ」（大鰐町委託）
- 支援センターⅢ型「やすらぎ」（鯉ヶ沢町委託）
- 就労継続支援A型事業所 つがるの工房パッケージセンター
- 就労継続支援B型事業所 ジョブネット

弘前市について

- 人口 160,129人 (R6.4)
- 弘前市医師会を出している病院・診療所は154機関
- 身体障がい者は令和2年3月末時点で、7,018人
- 知的障がい者は令和2年3月末時点で、1,535人
- 精神障がい者は令和2年3月末時点で、1,811人
- 指定難病特定医療受給者証交付件数は令和2年3月末時点で、1,378人

青森県内の「にも包括」モデル圏域

- 平成30年度から令和4年度まで
弘前保健所管内でモデル事業を実施
- 令和5年度から
五所川原保健所管内でモデル事業を実施

弘前保健所管内の「にも包括」の取り組み

協議の場の設置	地域移行支援の利用促進	精神障がい者ピアサポーターの養成
各機関が参加するコアメンバー会議の開催	ポスターやリーフレットを作成	H30～R4 精神障がい者ピアサポーター養成講座実施（県知事名の修了証交付）
それぞれが持っている情報を共有	地域移行支援の積極的利用	R5～ 青森県の事業として実施（対象の拡大）
研修を企画・実施	院内でのピアサポーターの活動	弘前圏域ピアサポーター「だんだん」の会の活動

弘前圏域ピアサポーター「だんだん」の会 について

- 平成31年2月にフォローアップミーティング開催
その後「だんだん」の会と名前を決める

- ピアサポーターとして仕事をしたいという思い（語りの活動、就労等）
- テキストをもとに学習
- ピアサポーターとしての方向性が同じ
- ミーティングを継続

行動制限に関する私の経験

入院直後の隔離・拘束

幻聴の命令で、飲食拒否状態になり医療保護入院（病識無し）



「医療者側の勘違いにより、精神疾患という誤診が下され、
応急処置として、隔離・拘束が行われているのだろう」



医療者への不信感と同時に、どうなるか分からない将来への不安
も感じる

拘束されていた時の感覚

自分の体を動かさない



全ての決定権は他者にあるという感覚（幼い子供に戻った感覚）



最初は…

他者に委ねるしかない
という感覚

途中からは…

他者の言動に支配される感覚
幻聴による支配も強まる

隔離への認識と将来への思い

隔離への認識

応急処置としての
隔離

罰としての
隔離

最終手段としての
隔離

将来への思い

「自分はこれから
どうなってしまう
のだろうか？」

「もう退院できな
いかもしれない」

「回復・退院は
不可能なのだ」

隔離の回数・無力感

増

隔離室での筆舌に尽くし難い経験

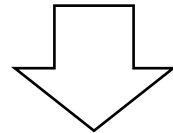
隔離室に入る少し前：みぞおちが締め付けられるような
居ても立っても居られない苦痛な感覚が発生



隔離室（3か月間）：ほぼ継続的にその感覚があり、幻聴によると
この苦痛は永遠に続くものである



退院後：苦痛な感覚は軽快していった



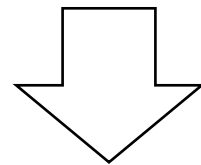
○当事者は医療者の想像もつかないような経験をしている可能性がある

心の傷に寄り添うこと

不可解な言葉の裏にある「幻聴が怖い」「助けてほしい」という思いをくみ取ってくれた看護師

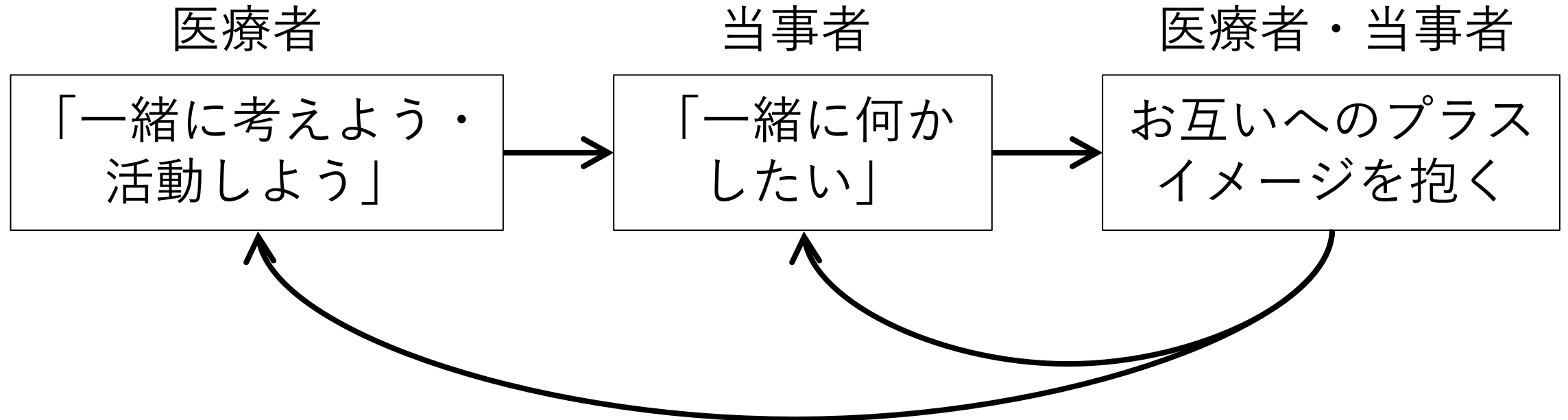


その看護師を強く信頼できるようになった



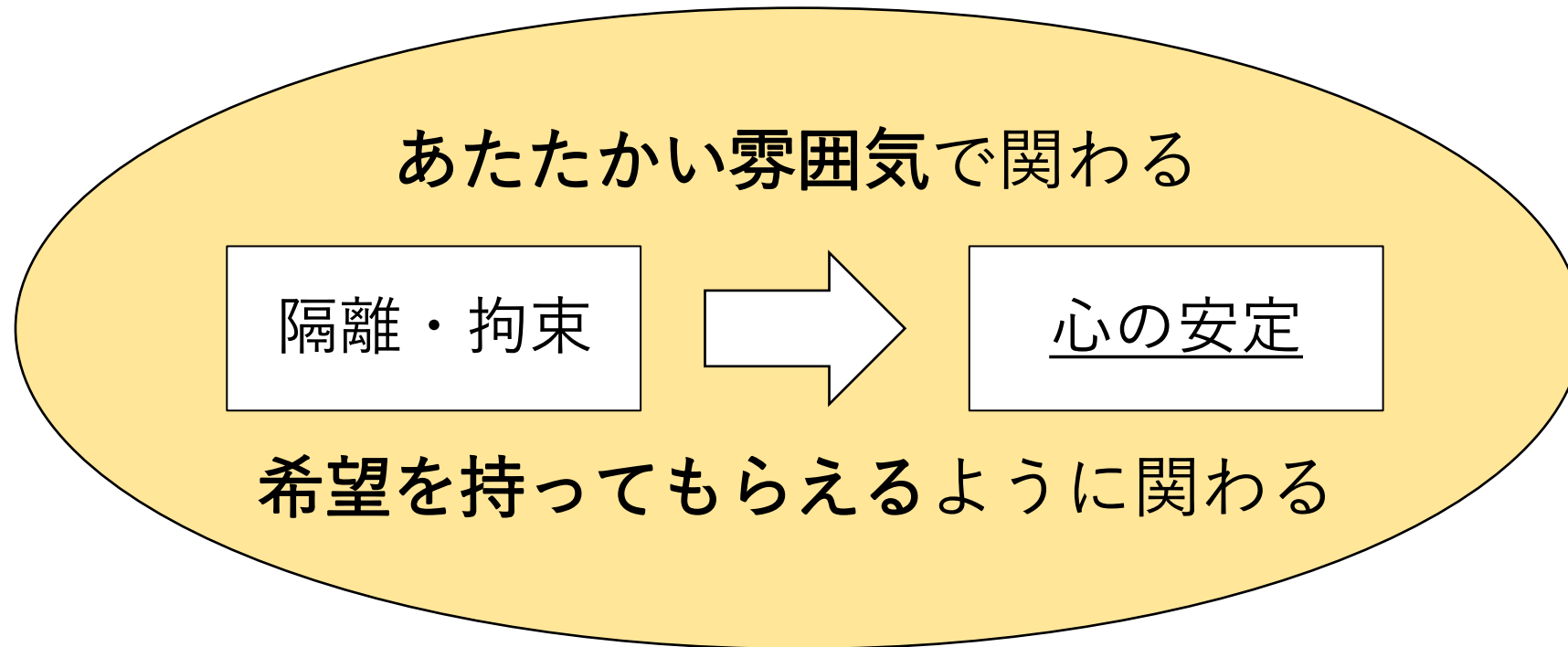
◎心の傷への寄り添い方が、もっと教育体系化されれば、
信頼できる医療者の数が大幅に増えるのでは

医療者と当事者のコミュニケーションの循環



- ◎ 隔離・拘束時も、当事者と一緒に考えることで、好循環が生まれる
- ◎ 医療者の勇気ある一歩により、お互いが希望を持つことができる
⇒ 「誰でもリカバリー可能だ」という信念が必須

当事者が考える最も大切な関わり



☆あたたかい雰囲気で、希望を持ってもらえるように関わることで、当事者の心の安定につながる

ご清聴ありがとうございました